



ミクニパーテック(株)紹介

ミクニパーテック株式会社は、1988年美しい豊かな自然が広がるこの牧之原市に設立しました
二・四輪自動車部品、ガス産業機器の事業分野において、ダイカスト鑄造、単・順送プレス、金属加工及び組立、表面処理
といった一貫生産が可能な体制をとっており、幅広い業界のお客様からご好評を頂戴しております。環境改善活動では
2020年度に環境マネジメントシステムに対する国際的認証でありますISO14001を取得致しました。

昨今、地球環境への配慮が大変重要視される状況となってまいりました。弊社では『ものづくり要素技術』を
追求し、安全・品質・環境対応(カーボンミニマムほか)を第一優先として掲げ、将来にわたって社会に貢献できる
企業でありつづけるために、ものづくり力のみならず、人づくりを強化して社会貢献を進めています。



ロケーション

弊社は東名高速道路 相良牧之原インターから車で約20分と交通の便に恵まれております。



住所 〒421-0535: 静岡県牧之原市笠名500-1 電話 0548-58-1620(代表)



目標と実績

	活動項目	活動内容概略	BM	実績
CO2削減	1、生産性向上	生産時間短縮やモノの流れ向上によるロス削減	19年度実績 6,954.2t	20年度実績 5,807.3t 削減量1,146.9t 達成度 116.5%
	2、不良低減	工程内外で出る製品不良の分析と削減		
	3、故障	設備故障にし改良保全と予知予防保全		
	4、省エネ	長期連休電源OFF化及び工場エア一削減		
化学物質削減	1、化学物質代替化	1-ブロモプロパン代替準備	2,970.0kg/19年度	社内代替評価完了
廃棄物削減	1、廃棄物削減	廃棄削減分科会立上げ全社活動に展開	99.93%/リサイクル率	97.83%/リサイクル率

* CO2排出量は中部電力係数0.431kg-CO2/kwhで算出

* CO2削減は前年度比減少となりました。要因としてはコロナ禍の生産がありますが、エア一漏れ対策、重油からLPG変更で削減しました。



環境活動報告

<p>1、エア一洩れ対策</p>	<p>19年2月同様に20年12月、職制でエア一配管及び設備からのエア一漏れをチェック 2月調査との比較では是正処置も進んだ事から12月調査では半減となりました。 洩れ量4段階の層別では大きな漏れが18件あり是正は完了しています。大きな漏れは 今後の課題と捉え改良改善を進めています。</p>
<p>2、長期連休溶解炉湯抜き</p>	<p>弊社のダイカストアルミ溶解炉はLPGにてアルミ魂を溶解する仕様です。溶解炉は 生産中は常時溶解をしていますが、生産停止すると溶けたアルミは凝固を始めます。 これを防止する為、炉内を一定温度で保持しなくてはなりません。ここで消費される LPGの削減を溶湯を抜いてしまう事で対策をしました。(効果:70,453Kg-CO2/年削減)</p>
<p>3、エア一ゼロ推進活動</p>	<p>今までの管理の仕方を見直し、製造と製造技術が連携し設備稼働の見える化を行い、 休日出勤が無い日を『エア一ゼロの日』としコンプレッサを停止する活動を行いました (効果:110,534kg-CO2削減/年)</p>
<p>4、環境事例発表会</p>	<p>今年度はテーマを『深めよう環境貢献、めざそう脱炭素職場、なくそう有害物使用』です。 各部署、自らの業務プロセスより現状把握した環境側面の環境影響評価を総括した 「著しい環境側面集約表」で「有害な著しい環境側面」を改善する事で成果を上げる 事が出来ました。環境負荷低減の有意義な発表会でありました。</p>

外部コミュニケーション

ファミリーツアー



今年度はコロナの影響により社外交流やイベント開催を実施することができませんでした。そこで、弊社では従業員のご家族向けに少人数制の工場見学(ファミリーツアー)を3回(11/28,12/28,1/11)開催いたしました。普段見ることができない、家族が働いている姿や工場を見学することができ、参加いただいたご家族様からも「楽しかった。参加して良かった」と、とてもありがたいお声をいただきました

マスク寄贈

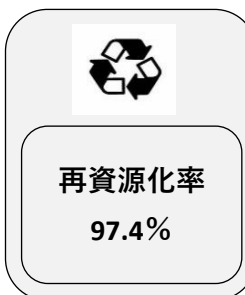
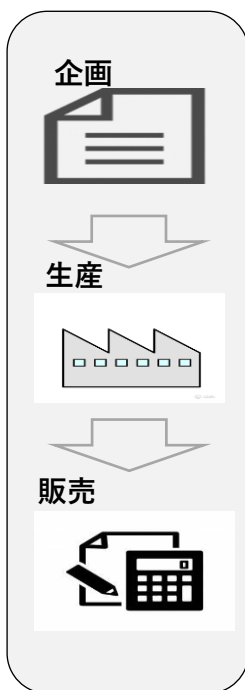


日中両国の友好の観点から、親会社の株式会社ミクニの現地法人が中国慈溪市に所在する縁でミクニグループである市内所在の当社を通じて牧之原市へマスクを寄贈しました。寄贈しましたマスクは、市内の医療機関、社会福祉施設などに配布する等、有効活用していただけるとのことです。

マテリアルバランス

INPUT(資源投入量)

	エネルギー	
	● 電力	6428.4 MKW
	● 灯油	1.030 KL
	● A重油	36.00 KL
	● ガソリン	6.87 KL
	● 軽油	0.72 KL
	● LPG	972.92 t
	化学物質	
	● 1-ブロモプロパン	3.22 t
	● トルエン	0.99 t
	● メチルナフタレン	0.40 t
	● キシレン	0.20 t
	● その他	0.73 t
	水	
	● 水道水	26,290 t
	● 雨水	126,660 t
	原材料	
	● アルミダイカスト材	1,687 t
	● その他金属(鉄・真鍮・銅など)	535 t
	事務系資材	
	● コピー紙 (A4換算)	438.4 千枚



OUTPUT(排出量)




	工場+社有車	
	温室効果ガス	● CO2 5,807.3 t
	大気への排出ガス	
	大気汚染防止法における特定施設の設置は有りません(※1)。	
	化学物質	
	● 1-ブロモプロパン	3.22 t
	● トルエン	0.97 t
	● メチルナフタレン	0.40 t
	● キシレン	0.16 t
	● その他	0.73 t
	水系への排水	
	● 排水	143,234 t
	水系への排出	
	● BOD	0.43 t
	● COD	0.91 t
	廃棄物	
	● 総排出量	264.9 t
	● 最終処分量※2	5.8 t

※1但し静岡県条例における特定施設として「アルミニウム又はアルミニウム合金の用に供する溶解炉」を有する為有害物質については排出量を測定している以下に結果を記載する

(単位: mg/m³)


監視項目	基準値	実測平均値	実測最大値	評価
塩素	20 以下	1.05	3.0	○
塩化水素	50 以下	1.03	4.5	○
フッ素及びフッ化水素	3 以下	1.69	2.3	○

※2最終処分量とは埋立処分に出す量を表示しています

<p>環境教育風景</p> 	<p>2020年度はISO14001を認証取得する為、組織全て対象に、環境マネジメントシステム運用状況について、環境負荷低減、環境法規順守、意図する成果を達成するためにPDCAが行われているかを模擬審査形式で活動を進捗しました、この事によりシステムを理解することが出来、各部署の環境意識も高まり、改善スピードを上げる事が出来ました。</p>
<p>安全教育風景</p> 	<p>弊社は外部に安全のご指導を受けています。 2020年度は7月及び1月に現場診断と教育を実施しました。7月は、災害発生の基本・現場主義と現場融合主義について、2月は安全で健康に働く為のポイント（「かもしれない」、正しい服装、決められた作業手順を守る等）のご指導を頂きました。この活動を通し、作業がやりやすくなる、働きやすくなるよう、安全対策を展開しました。</p>
<p>緊急事態教育及び訓練</p> 	<p>油分雨水側溝漏洩を想定しての緊急事態想定訓練を展開しました。 定常作業手順書の説明では、漏洩しない為に普段どのように予防すべきかを現地、現物で現認した後、訓練手順に沿い訓練を実施、訓練後は不具合抽出を行いました。出された不具合内容は是正が完了しています。</p>

 遵守評価の評価及び環境関連法令の順守状況

遵守評価の内容(概略)	遵守結果(概略)
<p>浄化槽自主基準値オーバー</p>	<p>・浄化槽60人槽排水の測定値が悪い為、槽内圧送用ポンプ交換で清浄度をアップ及び排水水路についても50.100人槽排水と連結させる事で最適経路に変更を実施した事により自主基準値内で推移しています。</p>
<p>騒音測定、条例値オーバー (休止再稼働設備) ・クーリングタワーモーター音 ・ウエットスクラバー(湿式集塵機)設備音、及び排気音</p>	<p>・騒音においては、19年度規制値オーバーした3か所は対策完了しております。 ・クーリングタワー音は、新規モーターに交換対策完了しています。 ・ウエットスクラバーは、設備全体を遮音シートで囲い、又排気口は境界から離す方向で南側に延長を対策とする。 ・上記対策と並行し防音フェンスも検討する。</p>

 次年度の取組内容

<p>1. 省エネ活動</p>	<p>固定費の削減、新技術の導入、他社改善事例の探索と導入可能 事例を活用する事で総エネルギー使用量削減と共に脱炭素化を目指し CO2排出量を更に低減する。 重油ボイラー全廃止 ⇒ LPG切り替え、再生可能エネルギーの採用検討</p>
<p>2. ゼロエミッションを継続し、廃棄物削減</p>	<p>現状のリサイクル率(99%以上)を維持しながら廃棄物から有価物にさらに可能な限り移行する また、3Rに重点を置き、処分費削減 (3R:リデュース、リユース、リサイクル)</p>
<p>3. 化学物質の代替、削減</p>	<p>1-プロモプロパン(アブゾール)全廃、各部署で扱う有害、及び危険な化学物質を順次代替し、削減する</p>



ミクニパーテック株式会社

環境経営方針

環境基本理念

私たちは、「地球的視野にたつ」を共通認識として捉え、環境や社会との共存並びに次代の共栄のため持続可能な社会の実現に貢献します。

環境経営方針

私たちは、自動車関連部品、環境機器並びに家庭用ガス機器関連部品の設計・開発から製造・販売・使用、そして廃棄に至るまでの全過程を“ものづくり”と考え、環境負荷を継続的に低減し、且つ環境保護に貢献する活動に取り組みます。

1. 安全と環境に配慮した品質第一のものづくりを全社員一丸となって実践し、人と技術を活かし豊かな社会づくりに貢献します。
2. 以下の具体的な活動に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。
 - ①不良削減や生産性向上はもとより改善活動を行う事により温室効果ガス排出量を低減する
 - ②ライフサイクルを考慮し3R及び環境配慮設計を織り込んだ製品を広く提供する
 - ③汚染や火災の予防及び安全を考慮し、有害化学物質の代替又は削減を進める
3. 環境関連法規・規制・条例・協定などの国内外の要求事項、並びに地域社会やお客様からの要求事項を順守するとともに環境管理レベルの向上と汚染の予防に努めます。
4. 経営戦略として環境経営に積極的に取り組み、環境マネジメントシステムにより継続的改善に努めます。
5. 地域とのコミュニケーションを図り、継続的に良好な関係を維持します。
6. 活動の結果について評価し定期的な見直しを実施するとともに、当社で働くすべての人に対し目標の達成に向けた必要な教育訓練を実施します。

2021年 4月 1日
ミクニパーテック株式会社
代表取締役社長

皆本浩人